

隣接地域メディカルコントロール協議会との 情報共有と協働について

隣接するMC協議会の情報共有と協働



救急活動と救急医療の質が向上

静岡県西部地域メディカルコントロール協議会
仲山 智士(浜松市消防局)

西部地域メディカルコントロール協議会

圏域人口 856,876人

消防本部 2市

(浜松市消防局)

(湖西市消防本部)

令和2年救急出動件数 35,476件

消防職員 980人

救急隊 26隊

指導救命士 11人

高度救命救急センター 1施設(Dr. ヘリ運用)

救命救急センター 2施設

二次救急病院 5施設

※令和3年4月1日現在

中東遠地域メディカルコントロール協議会

圏域人口 471,283人

消防本部 5(5市1町)

令和2年救急出動件数 15,074件

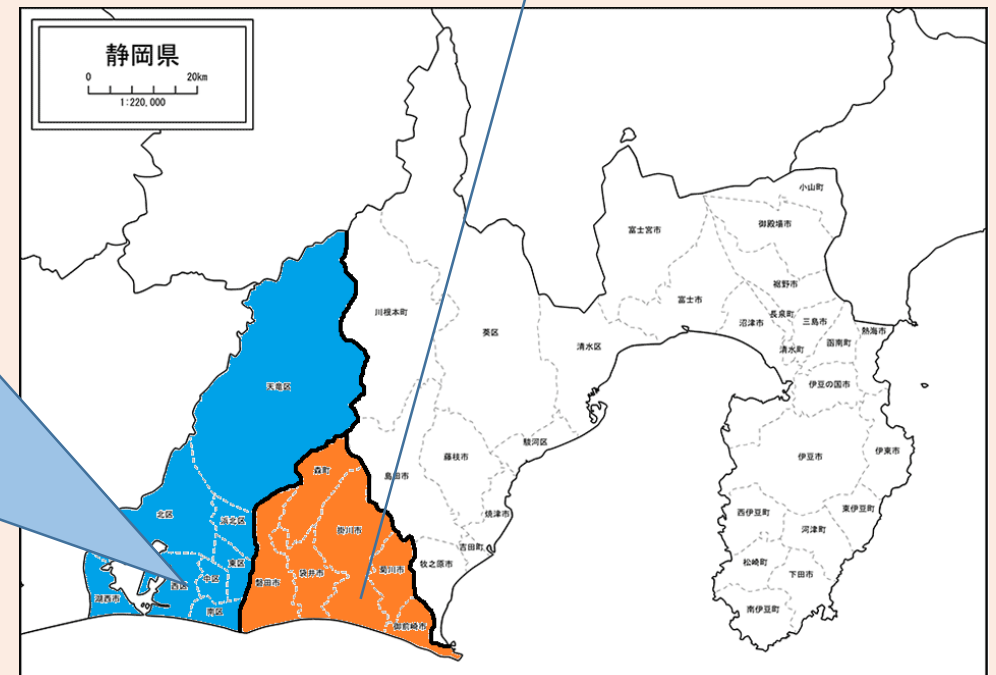
消防職員 590人

救急隊 23隊

指導救命士 10人

救急救命センター 2施設

二次救急病院 3施設

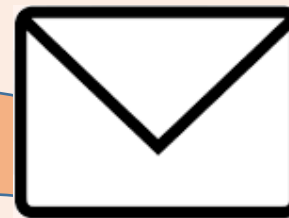


情報共有(事後検証会)

西部地域メディカルコントロール協議会

開催案内をやりとり
↓
検証会に参加

中東遠地域メディカルコントロール協議会



情報共有(事後検証会)

相互に事後検証会
へ参加

検証事例を共有

得た見識を活かし
活動の質を向上

多くの活動を知り
課題解決のヒント
を得る



協働(研究発表会・技術研修会)

①救急業務・救急医療に関する研究発表会

②救急に関する技術研修会

※①と②を隔年開催

主催 静岡県西部地区消防長会(7消防本部)

共催 西部地域メディカルコントロール協議会

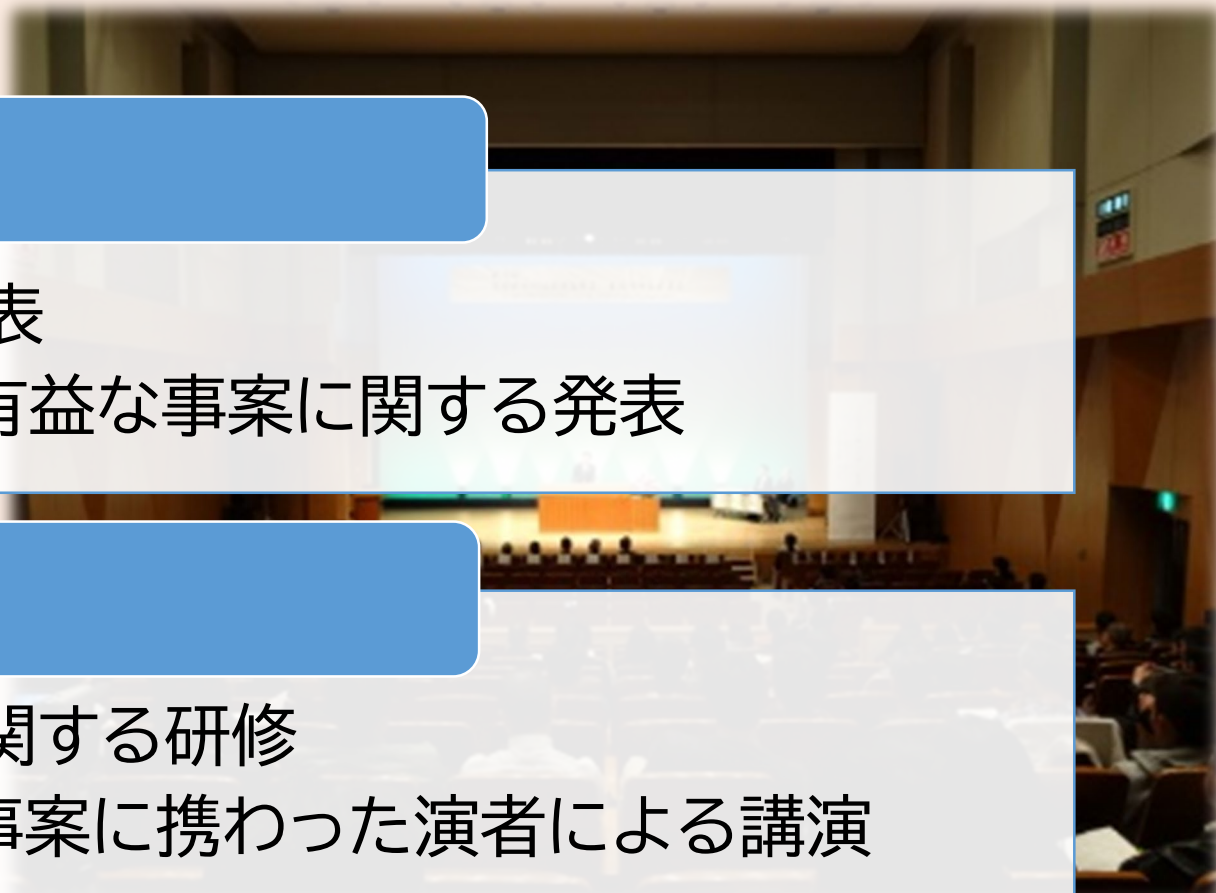
中東遠地域メディカルコントロール協議会

救急隊員・看護師研究発表会

- ・ 地域での課題と解決方法に関する発表
- ・ 多くの救急関係者で共有することが有益な事案に関する発表

救急技術研修会

- ・ 救急技術向上に資する新しい知見に関する研修
- ・ 大規模災害、全国的に関心を集めた事案に携わった演者による講演



協働(研究発表会・技術研修会)

単独よりも協働

多くの背景を持つ参加者(医療関係者・消防関係者等)
様々な観点からの意見

活発な意見交換
広い視点での振り返り

メディカルコントロール体制のブラッシュアップ



まとめ

MC圏域は違っても、市民の生活圏としては「ひとつ」
隣接MCが情報共有と協働を、
「ひとつ、ひとつ」積み上げることで、
市民の生活圏における救急活動と救急医療の質の向上を図っている。



市民の生活圏

西部地域
MC圏域

中東遠地域
MC圏域

ひとつひとつは地味であっても、積み上げた
先には、市民の命を守ることができる強固な
「城(MC体制)」が建っています

